

にほんまつ 市議会だより

第78号

3月定例会

令和7年5月1日発行
(2025年)

発行:二本松市議会

編集:議会だより編集委員会



旭小学校卒業式



新殿小学校卒業式



東和中学校卒業式



小浜小学校卒業式



予算審査特別委員会 文教福祉分科会現地調査
安達老人福祉センター (油井第4学童予定施設)



予算審査特別委員会 産業建設分科会現地調査
二本松駅南整備事業 (駅南口線改良工事ほか)

予算審査特別委員会 …… P.2～3
定例会概要 …………… P.4～5
代表質問・一般質問 …… P.8～13



「総合計画」がスタートして5年目を迎え、これまで積み重ねてきた成果を土台とし、4つの基本目標の達成に向けた施策が盛り込まれた令和7年度予算を審査しました。予算の決め方や使われ方について、当局への質疑と委員間での討議が行われました。審査の一部を紹介します。

「笑顔あふれるしあわせのまち二本松」

実現のための予算を可決

予算審査特別委員会で新年度予算案を審査

合併20周年記念事業

問 予定している事業の内容は。

答 主なものとして、本年12月21日に2部構成による記念式典を計画している。第1部では、市政功労者表彰や20周年記念ロゴマーク最優秀賞等受賞者の表彰をメインとし、第2部では、本市出身の樋口達哉氏によるリサイトを予定している。

消防団設置費

問 現在の団員数と支給する防火衣の1着当たりの単価は。また、機能別団員にも支給するのか。

答 現在の基本団員定数は1,313名であり、1着約10万円と見込んでいる。また、防火衣の支給は基本団員のみを予定しており、防火帽やしころ、防火靴は各屯所で必要最小限の数を購入する予定である。

インバウンド誘客促進事業

問 当該業務を委託する事業者の想定は。

答 来日するリピート率が高い台湾をターゲットとし、当市の強みである安達太良山と温泉を生かした交流事業を予定しており、市民募集型の旅行業務の委託が実施可能な事業者を想定している。

交通対策事業

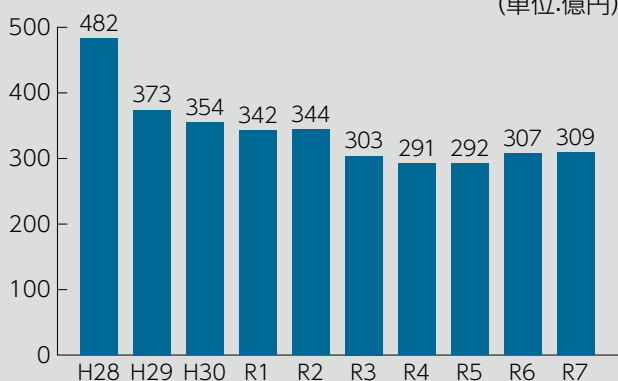
問 AIシステムを活用したデマンド型乗合タクシー運行の詳細は。

答 利用者が電話等で予約をした情報からAIシステムによりルートが作成され、運転手の管理するタブレット端末に情報が送信されるシステムとなる。

意見 デマンド型乗合タクシーについては、AIシステムの活用によりスムーズに運行できるよう努めて欲しい。

一般会計の当初予算額の推移

(単位:億円)



予算規模

(単位:千円)

会計区分	令和7年度予算額	令和6年度予算額	比較
一般会計	30,892,143	30,667,334	224,809 (0.7%)
特別会計	12,498,070	12,730,307	▲ 232,237 (▲1.8%)
企業会計	5,171,397	5,247,877	▲ 76,480 (▲1.5%)



予算審査特別委員会の様子

3月定例会では、令和7年度各会計予算を審査するため、予算審査特別委員会を設置しました。

3月11日及び12日に、全体会で総括審査を行った後、分科会に分かれ質疑・討議が行われました。

予防接種事業

意見 新たに始まる带状疱疹ワクチン接種の費用助成について、市民の健康増進に寄与する重要な事業であることから、正確かつ分かりやすい情報提供により、接種率の向上に努めてほしい。

答 带状疱疹ワクチンの定期接種については、個人の重症化予防のために実施するB類疾病のワクチン接種であるため、市が接種費用の7割相当額を負担し、被接種者の自己負担額は、生ワクチンの場合3,000円、組み換えワクチンの場合は1回7,000円が2回分となる。また、近隣自治体においても、自己負担額が3割相当額となるよう協議を進めていると伺っており、大きな差は生じないと思われる。

問 带状疱疹ワクチンの定期接種にかかる自己負担額は。また、近隣自治体と比較し自己負担額に差はあるのか。

二本松駅南地区 整備事業

問 現在進めている南北自由通路の基本設計の内容と今後の計画は。

答 JRと協定を締結し事業に着手しており、橋上駅舎等の案も含め、基本設計を令和8年8月までにまとめることとしている。その後、実施設計と工事を経て、市としては令和12年度末までの完成を目指している。

二本松城跡 調査事業

問 測量設計等委託料596万1,000円の内訳は。

答 三の丸周辺にある全ての石垣のカルテ作成に約497万円、からめて掘手門北側の発掘調査に係る石垣の写真測量に約99万円を見込んでいる。

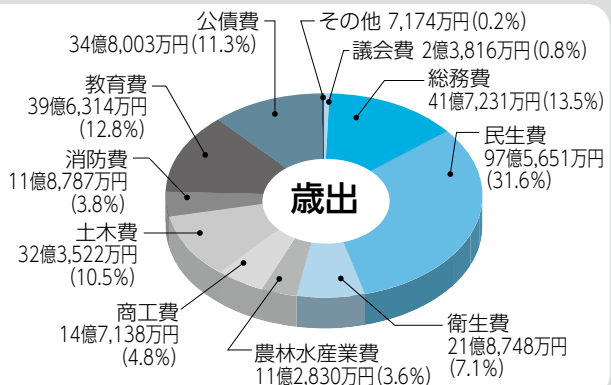
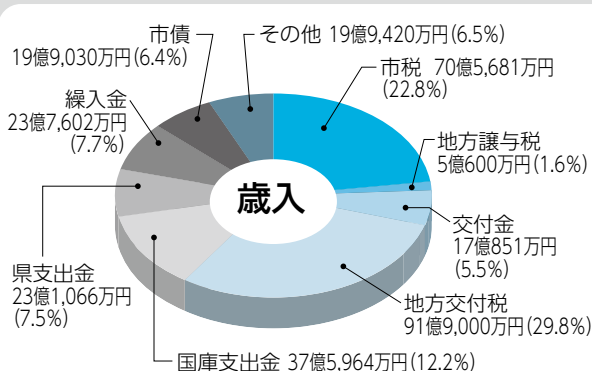
民生委員活動経費

問 新たに設置する民生委員協力員の目的と人数は。

答 民生委員の負担軽減と新たな地域福祉の担い手発掘を目的に、民生委員の活動を補佐する民生委員協力員を設置する計画である。協力員の活動内容は、地域住民からの相談対応、訪問同行、地域イベント参加などであり、令和7年度は民生委員の定員149名の2割、30名程度を想定している。

令和7年度一般会計

当初予算 308億9,214万円



市長提出議案41議案

新年度各会計予算案など市長提出議案41議案を可決

令和7年度各会計予算案は、予算審査特別委員会において延べ7日間にわたる審査が行われた後、本会議で可決されました。令和7年度の一般会計当初予算総額は308億9,214万3千円で、前年度対比2億2,480万9千円、率にして0.7%の増となりました。

予算編成の基本的な考え方としては、総合計画の4つの基本目標の達成に向けて、各種事業を積極的に推進し、東日本大震災及び原子力災害からの復旧・復興に係る施策を引き続き進めるとともに、歳出改革等により事務事業の見直しや業務の効率化を図り、限られた財源を有効に活用して、地方債や債務負担行為への依存を極力控えるという姿勢で臨まれたもので、全会一致で可決しました。

議案第30号

令和7年度一般会計予算案を可決

二本松市総合計画がスタートして5年目を迎え、「市民が主役。市民とともに。」を基本に、これまでの成果を土台として目指す将来像「笑顔あふれる しあわせのまち 二本松」の実現のための各種施策を盛り込んだ予算を全会一致で可決しました。

二本松市総合計画の4つの基本目標ごとに新規・拡充事業を一部紹介します。



「健康で暮らし続けられるまち」

○民生委員の担い手確保対策事業【新規】 予算額 37万円】

民生委員の負担軽減と新たな地域福祉の担い手の育成・確保のため、地域の見守り活動等を補佐する「民生委員協力員」を配置し、各委員が活動しやすい体制づくりに取り組む。

「地域の誇りに満ちた活力あるまち」

○移住・定住促進事業【拡充】 予算額 2,669万円】

定住支援員を各地域に配置し、情報提供や相談受付、イベントなどを行うとともに、空き家改修費補助金や首都圏等からの移住者に対する補助金の交付などにより市内への移住・定住を推進する。

「世代をつないで人を育むまち」

○GIGAスクール整備事業【新規】 予算額 2億5,575万円】

児童生徒の「情報活用能力」を育成するために、学習者用コンピュータを更新し、ICT環境を整備する。

「安全で快適な暮らしのあるまち」

○地域医療体制確保事業【新規】 予算額 5,000万円】

市内に診療所を新規開業または事業承継する方に対し、土地・建物取得費、医療機器の取得等に要する経費等及び人件費を補助する。

人権擁護委員候補者の推薦

安在 政晴さん(下川崎・再任) 佐久間 優子さん(百目木・再任)
塚原 真禅さん(太田・新任)

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件 名	結果
第 4 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	原案可決
第 5 号	二本松市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例制定について	原案可決
第 6 号	二本松市中小企業・小規模企業振興基本条例制定について	原案可決
第 7 号	二本松市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 8 号	二本松市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 9 号	二本松市英語指導を行う外国青年の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第10号	二本松市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第11号	二本松市税特別措置条例及び二本松市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第12号	二本松市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第13号	二本松市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第14号	二本松市学童保育所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第15号	二本松市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第16号	二本松市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第17号	二本松市非常勤の学校医等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第18号	二本松市新型コロナウイルス感染症対策資金融資利子補給補助金基金条例を廃止する条例制定について	原案可決
第19号	安達ヶ原ふるさと村公園の指定管理者の指定について	原案可決
第20号	二本松市安達ヶ原ふるさと村屋内遊び場施設の指定管理者の指定について	原案可決
第21号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決
第22号	損害賠償額の決定について	原案可決
第23号	損害賠償額の決定について	原案可決
第24号	令和6年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第25号	令和6年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第26号	令和6年度二本松市土地取得特別会計補正予算	原案可決
第27号	令和6年度二本松市宅地造成事業会計補正予算	原案可決
第28号	令和6年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第29号	令和6年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第30号	令和7年度二本松市一般会計予算	原案可決
第31号	令和7年度二本松市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第32号	令和7年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第33号	令和7年度二本松市介護保険特別会計予算	原案可決
第34号	令和7年度二本松市土地取得特別会計予算	原案可決
第35号	令和7年度二本松市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決
第36号	令和7年度二本松市茂原財産区特別会計予算	原案可決
第37号	令和7年度二本松市田沢財産区特別会計予算	原案可決
第38号	令和7年度二本松市石平財産区特別会計予算	原案可決
第39号	令和7年度二本松市針道財産区特別会計予算	原案可決
第40号	令和7年度二本松市小手森財産区特別会計予算	原案可決
第41号	令和7年度二本松市工業団地造成事業会計予算	原案可決
第42号	令和7年度二本松市宅地造成事業会計予算	原案可決
第43号	令和7年度二本松市水道事業会計予算	原案可決
第44号	令和7年度二本松市下水道事業会計予算	原案可決

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件 名	結果
第 1 号	二本松市議会個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件 名	結果
第 1 号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	趣旨採択
第 2 号	国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願	不採択
第 3 号	国に対し、「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願	不採択

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

二本松市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について、一般会計補正予算について

○二本松市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について

意見 職員が休暇を取得しやすく改正することは評価できる。積極的に活用しながら職務に励んで欲しい。

○令和6年度二本松市一般会計補正予算

問 繰越明許費補正の要因となった、道の駅「ふくしま東和」管理運営経費の実施設計等業務委託料について、基本設計からの変更内容は。

答 広場に改修予定であった駐車場を残すこと、屋内物販部分の拡張及び建物を連結する通路を設置することの3点である。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

二本松市中小企業・小規模企業振興基本条例制定について、一般会計補正予算について

○二本松市中小企業・小規模企業振興基本条例制定について

問 条例制定における市内の中小企業・小規模企業の範囲は。

答 中小企業基本法第2条に規定のある企業者が該当し、市内事業所のほとんどが当該規定の範囲内にあると認識している。

意見 今回の条例制定が、関係各所の連携強化、本市経済の活性化及び発展につながるよう取り組んで欲しい。

○令和6年度二本松市一般会計補正予算

(霞ヶ城公園管理経費)

問 今回、補助事業が不採択となった散策路の整備については、次年度以降どのように対応していくのか。

答 今回整備しようとした散策路は、既存のものに追加して別経路の散策路を整備するものであるため、緊急性の面で優先順位が低いことから不採択となった。次年度以降は、県内の動向を注視し、適切な申請時期を検討して進めていく予定である。



机上審査の様子

文教福祉常任委員会

二本松市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例制定について 二本松市非常勤の学校医等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

○二本松市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例制定について

問 こども誰でも通園制度の申請方法は。

答 今後、国が総合的なシステムを立ち上げ、希望者は、スマートフォンなどで施設の空き状況等を見ながら申込みができる予定。

意見 市民のニーズや保育士の不足状況等をしっかり把握し、市民への周知徹底を図りながら事業を推進してほしい。

○二本松市非常勤の学校医等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 引き上げ後の学校医等の報酬額は、他自治体等と比較してどの程度の水準か。

答 現在の額は県の平均より低い水準だが、引き上げ後は県の平均と同程度になる見込み。

意見 学校医等の報酬額の引き上げは、近年の物価高などを考慮すると妥当な措置であると考えられる。引き続き学校医等の方には、子どもたちの健康維持・増進のために尽力してほしい。



机上審査の様子

行政視察報告

詳細につきましては、
市議会ウェブサイトをご
覧ください。



産業建設常任委員会 1月29日～31日

《熊本県菊池市》

「菊池温泉を活用した観光振興策・農業との連携策」及び「地元農産物と6次産業化の推進」について視察してまいりました。

外部団体からの専門家派遣による温泉街の経営基盤の強化、温泉街・地元飲食店・農業が連携した食を通じた魅力の発信といった地域資源を一体的に活用する取組は参考とすべき点であると感じたところであります。

また、ブランド推進室を設け、地元農産物を使い多くのブランド商品を生み出している点や、一般的な基準にプラスして、市独自の安心・安全基準を設定することにより、農林畜産物の更なるブランド化・高付加価値化を図る点等大いに参考となったところであり、当市の特性にあった取組を検証し取り入れていく必要があると感じたところであります。

《熊本県八代市》

「八代観光DMO」について視察してまいりました。

DMOの自主財源確保は重要な課題であるため、地域資源、地元企業等との協力体制構築による事業の推進等は参考とすべき点であり、八代市同様に、最終的には地元経済への波及が目的であることを意識して取り組むことが必要と感じたところであります。

《鹿児島県霧島市》

「リノベーションまちづくり」について視察してまいりました。

遊休不動産の増加やコミュニティの衰退等の課題を抱えているため、まずは人が出会う機会や仕組みを構築すること、行政と民間が適切に役割分担をしながら、まちのにぎわいを生み出し、課題解決につなげていく取組について参考とすべき点があると感じたところであります。



視察の様子(八代市)

文教福祉常任委員会 1月28日～30日

《福岡県福岡市》

「教育現場におけるICTの活用」について視察してまいりました。

市独自の教育動画用プラットフォームの運用やデジタル採点システムの導入など、最新技術の活用により生徒の成長と教職員の負担軽減が図られていました。

また、学校や教員のICT活用格差解消のためのサポート体制が充実しており、当市においてもICT化を進めるうえで、参考とすべき点であると感じました。

《佐賀県武雄市》

「ICTを活用した教育」について視察してまいりました。

平成22年度から、全国に先駆け教育現場にタブレット端末を導入し、動画による家庭での予習学習など、独自の取り組みを実施しています。近年では「個別最適な学び」や「協働の学び」を重視する中で、ICTが効果的に活用されており、当市においても参考とすべき点が多いと感じました。

《長崎県佐世保市》

「スマートスクールSASEBO構想」について視察してまいりました。

本来縦割りの組織が、部署の垣根を越えて連携することにより、様々なICT関連の施策が円滑かつスピード感をもって展開されていました。

また、同市の取組から、ICTが地域間の教育格差解消に非常に有効な手段であることを実感し、中山間地域や過疎地域が多い当市においても、大いに参考になるものと感じました。



視察の様子(福岡市)

代表質問・一般質問

市の明日を考える!

3月定例会では、3月6日に5会派5人の議員が市政に対する代表質問を行いました。また、3月7日及び10日の2日間にわたり、11人の議員が一般質問を行いました。
主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載いたします。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで、読み取っていただきますと録画映像をご覧ください。

[発言順]



齋藤 広二

〔日本共産党二本松市議団〕

代表質問

二本松市地域公共交通計画の見直しは

問 二本松市全体の公共交通見直しの方針は。

答 公共交通計画に基づいて見直すこととしており、二本松地域では、本年10月から若宮、市役所発となっている路線バスの起点を福島交通二本松営業所に変更し、市道向原・上竹線を通る経路に延伸する予定である。また、「ようたすカー」に替えてデマンドタクシーを導入予定で、中心部の主要な商業・医療・行政・教育文化施設への回遊性を高める循環バスの導入も検討する。安達地域では、令和8年1月からデマ

ンドタクシーの乗降ポイントに二本松駅を追加、システムを用いた予約への対応、8時から16時まで自由に利用可能とし、これらの利便性向上に合わせコミュニティバスを廃止する予定である。また、岩代・東和地域のデマンドタクシーにおいては、二本松駅、安達駅を乗降ポイントに追加する予定である。なお、安達、岩代、東和地域のデマンドタクシーについては、二本松地域を運行エリアに追加、AIを活用した運行システムを導入し、効率的な運行を目指す。

代表質問

目標人口の改善に向けた取組は 将来土地利用は

問 目標人口が推計を大きく下回る要因と自然動態、社会動態の改善に向けた政策は。

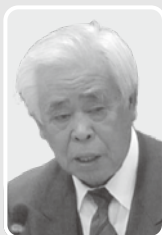
答 自然動態では死亡者数が出生者数を大きく上回っており、社会動態では転出超過が続き、特に高校・大学の卒業時に転出する方が多い傾向にある。改善に向けて「地方就職学生支援事業補助金」の新設、「移住促進住宅取得奨励金」など移住・定住の助成制度の拡充、「ライフデザイン事業」「はび福なび登録費助成」など結婚に向けた意識醸成や出会いの機会の



鈴木 一弘

〔みらいの風〕

創設、母子支援として「不育症治療費助成」「妊婦等包括相談支援事業」「出産時の交通費支援」「乳児等通園支援事業」などに取り組んでいく。
問 中心・地域拠点の位置づけの方向性の考えは。
答 中心拠点は賑わいのある市街地の形成と経済活動の活発化に努め、誰もが安心して暮らせるようコンパクトに都市機能を集積し、中心市街地への居住を推進する。地域拠点は、基本的な生活機能の維持に向け、地域の実情に合った小さな拠点づくりを進める。



佐藤 有

〔真誠会〕

代表質問

新年度の市政運営は 観光行政は

問 令和7年度各部局の重点施策を市長はどのような考え方で市政運営するのか。

答 新市が誕生して20周年の節目であり、将来に向け「夢」と「希望」にあふれ、更なる「飛躍」につながる新たな時代を創造していく。総合計画が5年目となり、各種施策・事業を積極的かつ効果的に取り組み、物価高騰など不安定な社会経済情勢が続く中、生活支援など必要な対策はスピード感を持って対応する。

問 持続可能な観光地域づくりとインバウンド戦

略の考えは。

答 観光戦略プラン策定事業でワーキング会議を開催し、持続可能な観光地に必要なマネジメントの重要性など議論を深めた。DMOを中心に戦略策定、観光コンテンツ造成、受入環境整備等を支援し、持続可能な観光地域づくりを推進する。インバウンド誘客では台湾へのトップセールスを実施。今後、二本松ならではの体験コンテンツの磨き上げ、広域圏と連携したPRを展開し、観光交流人口の拡大を図る。

代表質問

「健康で暮らし続けられるまち」 「地域の誇りに満ちた活力あるまち」



小林 均

〔令和創生の会〕

問 生活習慣病予防に対する、今後の取組は。

答 国保第3期データヘルス計画に基づいた①特定保健指導②重症化予防事業③特定健診受診勧奨事業④健康マイレージ事業⑤糖尿病性腎症重症化予防事業を実施。また、食で健康プロジェクト事業やからだスッキリ講座の継続、民間プログラムを活用した運動習慣の定着を推進する事業に取り組みたいと考えている。

問 田舎暮らしを希望される独身女性にスポットを当てた、移住・定住の新たな助成金の創設

を検討すべきでは。

答 近年、地方では若い世代、特に女性の都市部への流出と、それに伴う出生率の低下が問題視されている。若年女性人口の減少率は平均3.34%と男性を合わせた全体の減少率の平均1.44%より倍以上も高くなっており、出生数も年々減少の傾向にある。質問の助成金制度は課題解決の手段と考えるが、財政負担の課題も生じることから、他自治体の状況等を参考に、今後の研究課題とする。



熊田 義春

〔市政会〕

代表質問

来年度の教育環境は

問 令和7年度入学される各小、中学校の児童、生徒の人数は。

答 2月26日現在で、小学校は、二本松南小学校45人、二本松北小学校45人、塩沢小学校5人、岳下小学校27人、安達太良小学校6人、原瀬小学校6人、杉田小学校31人、石井小学校19人、大平小学校11人、油井小学校91人、渋川小学校11人、川崎小学校12人、小浜小学校6人、新殿小学校5人、旭小学校1人、東和小学校26人の合計347人である。中学校は、二

本松第一中学校103人、二本松第二中学校25人、二本松第三中学校67人、安達中学校104人、小浜中学校13人、岩代中学校13人、東和中学校24人の合計349人である。

問 これから先を見据えた教育環境は。

答 今後も学校の適正配置や少人数教育の充実を図りながら、教育環境の整備や学校教育の充実を図っていく。

一般質問

本市のICT教育は 学校給食費無償化の考えは



三木 剛

〔無所属〕

問 タブレット端末を毎日、持ち帰る習慣を進められないのか。

答 家庭で復習したり調べたりする学習にICT機器を活用することが、学習意欲の喚起や学力向上に寄与する場合は、持ち帰ることも大切と考える。今後も校長会や学校訪問等で、子どもたちの学びに応じた効果的な学習の一つとして、家庭学習でタブレット端末の活用が有効な場合は、持ち帰りを推進するよう指導する。

問 教育格差の観点から給食費無償化をどのように考えているのか。

答 教育格差の是正に関しては、学校給食費に限らず、幅広い分野において考慮する必要があると認識しており、幅広い視点から学校教育の充実に取り組み、学級・教科等運営費、教材消耗品費、進路対策費など、限られた財源の中で、本来保護者が負担すべき費用を市が負担し、保護者負担の軽減と学校教育の充実を図っている。今後もこの考え方で教育行政を進めていく。



高宮 正彦

〔真誠会〕

一般質問

市道根崎・野辺線は 下水道は

問 市道根崎・野辺線の歩道フラット化の進捗状況と今後の予定は。

答 智恵子の森団地前から県道福島安達線に向かう約330mの区間を優先して整備し、令和4年5月末に完成した。今後は、歩道のない個所の整備を優先することとしているが、当該路線の重要性も十分認識しているため、現在整備中の市道安達駅・源八坂線の歩道整備の完了時期や、無歩道路線への歩道整備についても考慮しながら、当該路線の整備を検討していく。

問 下水道未整備区域の今後の整備予定は。

答 整備対象区域の整備率は95.87%で、ほぼ計画通り整備を進めており、未整備区域は汚水を排出しない農地や地形的に下水道本管よりも低い場所にあつて、汚水の自然流下が不可能なエリアである。農地を宅地に変更し家屋などを建設する場合、地形的条件を満たせば、市が下水道を整備し、汚水の自然流下が不可能なエリアは、合併処理浄化槽の設置を補助金の交付対象としたうえでお願いしている。

一般質問

温泉等利用健康増進事業は 安達公民館のエレベーター設置は



安齋 政保

〔市議会〕

問 今年度より、はり、きゅう、マッサージを追加した理由は。

答 本事業の利用促進の一環として、温泉、プール以外の健康増進やリフレッシュに資する用途として新たに加えたものである。

問 はり、きゅう、マッサージを採用した基準は。

答 県北保健所に施術所開設届をしている市内の施術所を対象とし、助成対象とする施術は「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律」の規定により免状を受けた方が行う

医療保険適用外の施術とした。

問 安達地域の人口増加に伴い、公民館の利用者も増え、車イスやベビーカーでの利用も多いが、2階に行くことが困難なため、市民の福祉の向上と幸せを願う当市として設置すべきでは。

答 昭和54年に建築され、令和3年に耐震補強工事と大規模改修工事を行った。その際、エレベーター設置も検討したが、予算や施設の構造などの制約により断念した経緯もあり、現時点において設置は大変難しい状況にある。



菅野 明

〔日本共産党二本松市議団〕

一般質問

義務教育学校整備に対する対応は 本市林地での不適切開発抑止の取組は

問 将来、子どもが減っていく状況にあるが、小浜中をどの程度改修するのか。また、旭地区の子どもが東和地域の学校へ通う考えは。

答 普通教室や特別教室、体育館はそのまま活用する。必要に応じ小学生の体格に合わせた改修、内外装や老朽化設備の改修を検討している。「地域の枠組みを尊重する」を基本的な考え方とし、岩代地域の子ども達が同じ地域の義務教育学校で学ぶことは大変重要な意義があると考え、東和地域への通学は想定していない。

問 県は森林法に基づく処分等を受けた事業者名を公表するとしているが、市の取組は。

答 太陽光発電施設建設等に伴う林地の不適切な開発を防止するために規制を強化するもので、県の対応により住民の安全が確保されることを期待している。また、開発行為者と市で「環境保全に関する協定書」を取り交わしており、万が一事故が発生した場合、開発行為者は速やかに市、住民及び関係機関に報告し、迅速に事態の収拾を図るものとしている。

一般質問

新規就農者の受け入れは 東和「中ノ沢」地区排水路整備工事は



佐久間 好夫

〔真誠会〕

問 本年度の移住希望相談数、新規就農者数と移住した新規就農者の要望の聞き取りは。

答 移住希望の相談は45件で、そのうち新規就農を希望する方は1件であり、新規就農者数は、移住した夫婦2組を含む8件である。移住した新規就農者に限らず、就農希望者の現況、営農計画等を聞き取り、活用可能な事業の提案や手続きのサポートなど、関係機関と連携し支援を行っている。

問 施工している箇所で終了か、今後の計画は。

答 延長約140mの区間を今年度から令和10年度までの期間、年次計画により施工することとしている。その後の整備計画については、市内各地域からの整備要望箇所が多数あり、必要性が高い箇所から整備する予定のため、現在のところ未定である。



平 敏子

〔日本共産党二本松市議団〕

一般質問

介護保険は 新年度に向けた教職員の配置状況は

問 令和5年度の保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の収入金額は。また、令和6年度の高齢者自立支援・重度化防止等に向けた取組状況は。

答 収入金額は701万円及び985万3千円。「介護予防・生活支援サービス」等の4項目について、「事業実施状況の把握や整理」等の4つの取組を行うもので、次年度の交付金算定基礎となることから計画に基づき適切に対応している。

問 新年度に向けた必要な教職員の配置状況は。

答 各校の学級数以上の教員が配置され、教育活動に支障はないが、学級担任以外の教員が未確保の学校もあり、今後も県教育委員会に継続して配置を要請していく。

問 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置は国基準となっているか。

答 国の基準とは異なるが、スクールカウンセラーは手厚い相談体制を、スクールソーシャルワーカーは市教育支援センターに配置し、学校の要望等に直ちにに応じた支援を行っている。

一般質問

公共施設における防犯カメラの設置状況は ネットにおける非行・被害防止の取組は



本多 俊昭

〔令和創生の会〕

- 問** 職員が少人数の出先機関等の防犯対策は。
- 答** 業務に支障をきたす場合、本庁や各支所の所管課から職員を派遣して対応している。しかし、状況によっては派遣することが難しく、職員1人で対応せざるを得ないこともあり、防犯上望ましいことではないため、有効な防犯対策を各施設所管部署と検討していく。
- 問** 子ども達の依存傾向を定期的に調査する環境を整え、早期発見・早期対応をするための学校と保護者との連携強化策は。

- 答** 授業参観や懇談会、学校運営協議会等でインターネット利用やゲームについて話し合う機会を設けている。また、親子情報モラル教室の開催や学校便りでの啓発、メディアコントロールデーの実施など、児童生徒と保護者が家庭生活やメディアとの付き合い方を見つめ直す場を設けている。これらの取組を継続的に実施・改善し、保護者との連携を深めながら、児童生徒の非行・被害防止に取り組むことができるよう支援していく。



坂本 和広

〔真誠会〕

一般質問

おもちゃ図書館整備の考えは 旧福島介護福祉専門学校の検討状況は

- 問** おもちゃ図書館をつくることの意義と効果をどのように捉えるか。
- 答** 意義としては、子育て世帯の交流の場が提供できること、おもちゃを購入する負担が軽減されることによる経済的なメリットがあげられる。効果としては、こどもが多様なおもちゃに触れ、他のこどもと遊ぶことにより想像力の育成やコミュニケーションスキルの向上につながると思う。
- 問** おもちゃ図書館を整備する考えは。

- 答** ニーズの把握、限られた人的資源及び財源の有効活用を図る観点から慎重に判断する。
- 問** 建物及び敷地利用の具体的な進捗状況は。
- 答** 本年1月にあだち福祉会との間で無償譲渡契約を締結、3月には建物等の引き受けと所有権移転登記を進める予定である。現時点においては具体的な利用計画はないが、民間活力の導入も含め、今後、本市が所有する公共施設の総量や維持管理経費等を考慮しながら慎重に検討していく。

一般質問

定員管理計画は ふくしまDCに向けた取組は



加藤 建也

〔無所属〕

- 問** 新規採用職員の人数は定員管理計画と合致しており、退職者を補充する人数であるのか。
- 答** 各年度の退職者数と新規採用職員数の実情として、定年退職に加えて、想定していなかった早期退職者が出ることや、本市の採用試験に合格したもの、国家公務員や他の自治体職員と併願していた受験者が本市の採用を辞退すること等により、結果として退職数に見合う新規採用職員数を確保できない場合がある。
- 問** 本番DCを通じて二本松市に人を呼び込む事業

- の展開をどのように考えているのか。
- 答** 観光素材の発掘と磨き上げを行い、観光誘客を促進し、DC後も人を呼びこむことができる観光資源となるよう取り組む必要があると考えている。併せて、DMOを中心として、地域の関係者が参画した中で、データに基づく戦略策定、観光コンテンツ造成、戦略に基づく情報発信や受入環境の整備などを行い、当市の魅力を高め稼げる観光地域づくりを進め、関係人口の増加を目指していきたいと考えている。



武藤 清志

〔みらいの風〕

一般質問

受動喫煙防止対策とタバコ産業は 財政運営における課題は

問 市の公共施設における禁煙措置に対し、喫煙者への配慮はあるのか。

答 市の公共施設では令和元年7月から敷地内全面禁煙としており、基本的に屋外喫煙所は設置していないが、道の駅「安達」「さくらの郷」「ふくしま東和」及び「ウッディハウスとうわ」は不特定多数の利用者があり、道の駅においてはドライバーの休憩所ともなっていることから、例外的に喫煙所を設けている。

問 一般財源のみで展開している広範な事業の制

度設計を含めた今後の方向性はどうか。
答 今年度、近年の厳しい財政状況をふまえ、市単独事業を中心に事務事業の見直しを進め、継続すべき事業、見直しが必要な事業、廃止すべき事業など方向性を検討した。歳入に見合った歳出予算を計上することが重要であり、行政課題や市民のために必要な施策を積極的に進め、事業の選択と集中、受益と負担の適正化に努めていき、安定的な財政運営を図っていく。

一般質問

鳥獣被害対策は 企業誘致と今後の工業団地造成は



佐藤 源市

〔みらいの風〕



問 鳥獣保護管理法改正に伴う危険鳥獣に対する緊急的なハンターへの委託の市の対応は。

答 改正により、熊等が日常生活圏内に侵入し、緊急に対応が必要で、猟銃以外では捕獲が困難であり、地域住民に弾丸が到達するおそれがない場合、市町村長が銃猟を捕獲者に委託可能となるが、事故等による捕獲者への不利益発生が懸念されるため、捕獲者が安全に対処できる仕組みとなるよう期待するとともに、万が一の事態に備えた体制づくりを調査研究する。

問 長命工業団地の販売状況及び販売促進は。

答 全7区画中5区画が販売済みで、未売地はトップセールスや企業立地セミナーへの参加などにより販売促進に努めている。

問 新たな工業団地造成への見通しと取組は。

答 雇用創出、税収増加、産業活性化、経済の持続的成長が見込める重要な施策と捉えており、長命工業団地の完売の見通しが立った際にスムーズに着手できるよう立地動向を見極め、場所や規模を総合的に勘案し、適地選定を進める。

3月定例会 討論

討論は、議題となっている案件に対し、表決の前に賛成・反対の意見を表明することをいいます。

請願第1号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について

賛成

佐久間 好夫 議員

経済の活性化と働く人々の生活改善のためには最低賃金の引き上げが必要である。賃上げによる中小企業への影響が大きいことは認識しているが、国による中小企業への積極的な支援の遅れが賃上げの障害となっていると考えられる。これらを踏まえ、意見書を提出する意義は大きいと考えるため、本請願に賛成する。

賛成

斎藤 広二 議員

政府は2020年代に時給1,500円を目指す、「賃上げ減税」は中小企業のほとんどが対象外。共産党は大企業の内部留保553兆円の一部に2%を課税し、税収10兆円で社会保険料への直接支援を求めている。時給1,500円以下の労働者は2,823万人で全体の5割もあり、賃上げは国が中小企業に対し、どれだけ支援できるかにかかっていることから、本請願に賛成する。

請願第2号 国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願

反対 加藤 建也 議員

選択的夫婦別姓にした場合、公的サービスの利用に不便が生じる可能性がある、行政手続きが複雑化・コスト増大する、手術の同意、保険金の受け取りが認められない、所得税の配偶者控除・配偶者特別控除や相続税、贈与税の各種特例、控除も受けられない。また、強制的親子別姓になることなどから、本請願に反対する。

賛成 平 敏子 議員

昨年5月のNHK世論調査では60代以下で70%が賛成。経団連も制度の早期実現を求めている。親と姓が違う場合に受ける恐れのある不利益は、姓が違うというより、家族の姓は同じでなければならないという価値観や社会慣行に原因がある。こうした社会を変えていくのが政治の責任である。結婚の際、同姓を望む人は同姓に、結婚後も生まれ持った姓を望む人は別姓に「どちらも選択できる」制度を導入すべきと考えるため、本請願に賛成する。

反対 武藤 清志 議員

夫婦同姓制度は、明治期から日本人が長く大切にしてきた日本国家の基本的な伝統である。夫婦や子どもの姓がバラバラな家族となれば、家族の一体性が崩壊し、家族の一体感や先祖を敬う気持ちを薄めることになる。本市議会に一方的な偏った新聞のコピーを配布して判断を誘導しようとする行為は二本松市議会の良識を貶める行為である。この請願の願意は日本人として不自然な偏向性を含む内容であり、よって本請願に反対する。

請願第3号 国に対し、「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願

反対 本多 俊昭 議員

女性差別撤廃条約選択議定書は、個人通報制度を規定したものである。これは、司法権の独立を犯す可能性があり、これらの課題を慎重かつ真剣に検討している状況であり、批准を早急に求めることは、慎重な検討を妨げる可能性がある。今後、慎重な議論を続けていくことが最重要と考えるため、本請願に反対する。

賛成 菅野 明 議員

女性差別撤廃条約選択議定書は1999年に女性差別撤廃条約の実効性を高めるため国連で採択され、現在115か国が批准しているが、日本はまだ批准していない。昨年、国連女性差別撤廃委員会は日本に4回目の勧告を行った。国連からは「検討に時間を掛けすぎている」と遺憾に思うとの懸念まで表明された。20年以上検討し、更に検討が必要とは、政治が足を引っ張っていると言わざるを得ない。速やかに批准すべきと考えるため、本請願に賛成する。

3月定例会賛否一覧

(これ以外の案件等は全会一致で可決されました。)

番号	件名	議決結果	真誠会			みらいの風			日本共産党 二本松市議団		市政会		令和 創生の 会		会派に 属さない議員		賛 成	反 対
			佐藤 有	堀籠 新一	佐久間 好夫	高宮 正彦	坂本 和広	鈴木 一弘	佐藤 源一	武藤 清志	斎藤 運喜	菅野 明	熊田 義春	安齋 利美	小野 俊昭	本多 勝実		
請願第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	趣旨採択	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	4
請願第2号	国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願	不採択	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	15
請願第3号	国に対し、「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	12

※○=賛成 ●=反対 退=退席 欠=欠席 討=討論がなされた案件 ※議長(本多勝実)は採決に加わっていません。
※請願第1号は趣旨採択に対する採決です。趣旨採択とは、請願の願意については十分に理解できるが、実現性の面で確信が持てないといった場合に、不採択とすることもできないとして採られる決定方法です。

令和7年第1回(1月)臨時会

1月臨時会は、1月21日に開催されました。提出された議案は補正予算等3件で、審議の結果、賛成多数で原案可決しました。主な内容は次のとおりです。

◎二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について

・県に準じて、議会議員の期末手当を改定し、年間支給割合を0.1月分引き上げるため、所要の改正を行ったもの。

◎二本松市常勤の特別職の給与の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について

・県に準じて、常勤の特別職の期末手当を改定し、年間支給割合を0.1月分引き上げるため、所要の改正を行ったもの。

◎令和6年度二本松市一般会計補正予算

・国の総合経済対策に基づく物価高騰対策をはじめ、給与関係条例の一部改正等に伴い人件費を補正したもの。

傍聴者の声



3月10日に傍聴されたみなさん

いきいきサロン あじさいの会 菅原 文子 さん

私たちのサロン活動において、地元議員が一般質問する議会をぜひ傍聴してみようという計画をしました。日頃、市の広報や議員の方々の議会だより等を通じて行政の内容を知り得ていましたが、議会での質問において、少子高齢化、人口減少など直面している大きな課題について、身近でより具体的な内容を議論していることに感銘をいたしました。

私たちサロンは結成8年目となり、平均年齢も70歳を超え、間もなく全員が後期高齢者の仲間入りをします。明るく、元気に、楽しい地域社会をつくるためにも議会に期待をする一方、私たちも皆で話し合いながら活動を進めていきたいと思っています。

議員定数等に関する市民アンケートの結果

議員定数等調査特別委員会では、議員定数及び議員のなり手不足対策について、人口減少や少子高齢化などの社会情勢の変化を踏まえ、調査を行っています。

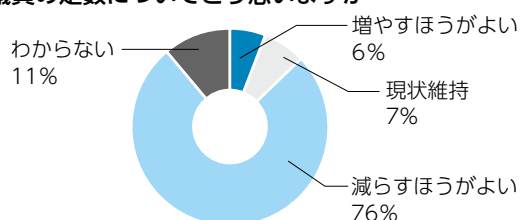
広く市民の皆様のご意見をお聴きするために実施した「議員定数等に関する市民アンケート」について、その結果の主なものを報告します。お寄せいただいたご意見は、委員会において今後の審議に活用させていただきます。

○回答者数 678人

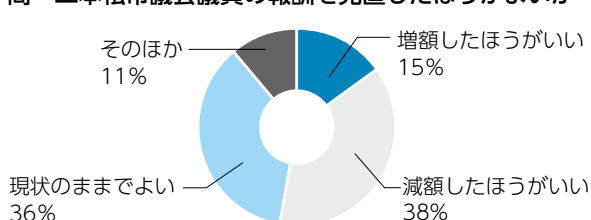
内訳	アンケート用紙による回答	259
	インターネットによる回答	419

※アンケート用紙は18歳以上の市民から無作為に抽出された1,000人へ郵送しました。

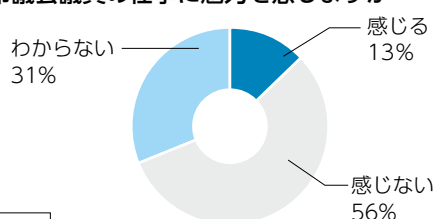
問 議員の定数についてどう思いますか



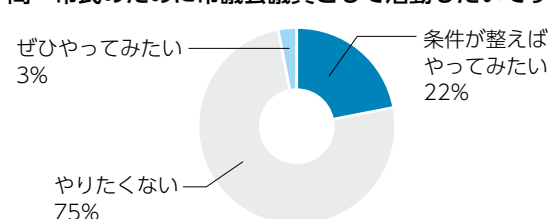
問 二本松市議会議員の報酬を見直したほうがよいか



問 市議会議員の仕事に魅力を感じますか



問 市民のために市議会議員として活動したいですか



アンケート結果の詳細につきましては、市議会ウェブサイトをご覧ください。
アンケート調査にご協力をいただきましてありがとうございました。

阿武隈川流域治水（遊水地整備）に関する事業説明会

令和7年2月10日、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトについて説明を受けました。

○事業の目的

令和元年東日本台風による甚大な被害が発生したことから、阿武隈川流域全体における総合的な防災・減災対策により、浸水被害の軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化を目指します。

○事業の内容・効果

浸水被害軽減のため阿武隈川上流の鏡石町、矢吹町、玉川村に新たな遊水地を整備します。これにより、洪水時に川の水を一時的に貯め込み、周辺と下流側の水位を下げ、浸水被害を軽減します。このプロジェクトでは、総面積約350ヘクタール、貯留量約1,500万～2,000万m³の大規模な遊水地の整備に取り組みます。

また、河道掘削も実施することで、二本松水位観測所付近において約0.6mの水位の低下が見込まれており、近年の気候変動による水害のリスクが増大する中、プロジェクトにより浸水被害が低減されることを期待します。



市民との意見交換会

～安達高校生・二本松実業高校生×二本松市議会議員～



令和7年1月16日に市民との意見交換会を本庁6階の正庁で開催しました。

開会式を議場で行った後、意見交換会では高校生から提案のあった「魅力ある二本松市とは ～住み続けられる街～」をテーマに、議員と高校生がそれぞれの考えを話し合いました。

高校生から出されたご意見を一部紹介します。

観光客が多く訪れる、魅力にあふれ活気ある街

- ・飲食店や観光スポットを増やして、街巡りを楽しめるようにしてほしい。
- ・観光客を増やすため、城を整備してほしい。
- ・祭りやイベントなどを、SNSなどを通して発信し、二本松の魅力がたくさんの人に伝わってほしい。
- ・二本松駅を中心として、活気のあるまちづくりを行うことで、二本松市全体が活気あふれる場所になってほしい。

環境に配慮したきれいで安全な街

- ・ポイ捨てを減らし、街の景観や歩行者・ライダーの安全を確保してほしい。
- ・街灯を増やし、安心して帰宅できる環境を整えてほしい。
- ・事故や事件のない、安全な街にしてほしい。

どんな世代も住みやすい街

- ・シャッター街を活性化して魅力的な商店街にしてほしい。
- ・公共交通機関などが利用しやすく快適に暮らせる街であってほしい。
- ・高齢者が安心して暮らせる環境の整った街にほしい。
- ・近くに子どもの遊び場や病院があって子育てがしやすい街になってほしい。

地域のつながりと地元愛のある街

- ・地域のイベントが増えて、近隣住民との関わりが深い街になってほしい。
- ・子どもたちの声が聞こえるにぎやかな街であってほしい。
- ・人々が戻ってきたくなるような、地元愛に溢れる街にほしい。

今年で2回目となる意見交換会では、高校生から提案のあった「魅力ある二本松市とは ～住み続けられる街～」をテーマに、少子高齢化や人口減少が進む中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりについて意見交換を行いました。このテーマのほかにもたくさんの課題を挙げていただき、高校生が市の現状に向き合い、そして市の将来について様々な考えや意見を持っていることに対し、大変心強く感じたところです。

議会としては、議会基本条例に基づく市民に開かれた議会づくりを進めており、社会情勢の変化を踏まえながら、積極的に議会改革を行っています。

今後、高校生の貴重な意見を活かし、市民にとってより良い環境整備を進め、市民福祉の向上につながるよう取り組んでまいります。

安達高校、二本松実業高校のみなさま お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。



編集後記

新年度もスタートし、春先清々しい気持ちのいい日々をお過ごしのことと思います。地震・雷・火事・親父 一番怖いのは？
天災は忘れた頃に...とは昔のこと、今はこれでもか？との勢いで間髪入れず、次々と私たちに降りかかりました。声をかけあわずで防災、減災のために日々少しずつでも備え等を心がけたいものです。
3月議会も無事終了し、市議会としても本市の躍進と皆様の福祉向上のために更なる努力を致します。(佐藤)



編集委員会
委員長
副委員長
委員

安齋 正彦
高宮 敏子
平 運喜
佐藤 好夫
佐藤 清志
武藤 剛
三木 剛